


■ 集会プログラム ■

13時
14時

- ・開会挨拶 集会実行委員長から
- ・講演「せんせいと子どもに
笑顔とゆとりを
～深い学びと生きる力の
ために～」

講師：中村雅子さん
(民主教育研究所代表運営
委員、桜美林大学教授)



※中村さんは、「教員の長時間勤務に歯止めをかけ、豊かな学校教育を実現するための全国署名」の呼びかけ人です。

14時10分
16時15分

リレートーク 10のテーマ

- 1 深刻な先生不足、教員の未配置によっておこる影響は
- 2 給食費の無償化
- 3 夜間定時制の存続を求めて
- 4 都立高校入試への英語スピーキングテスト(ESAT-J)活用、中1・2にも拡大ーいまだ残る問題は
- 5 東村山市での学校統廃合
- 6 特別支援教育
- 7 増える不登校と、子どもや保護者の願い
- 8 PFAS問題
- 9 「日の丸・君が代」裁判5次訴訟・原告の思い
- 10 三者で取り組む学校(校則)づくり

※リレートークの内容は
若干変更する場合があります。

その他、集会アピール採択など

集会の約束

憲法改悪に反対する集会／非暴力の集会／互いに誹謗・中傷・攻撃を行わない集会／意見の違いを認め合い、一致点を大切にする集会／参加者は組織、個人にかかわらず、互いに対等・平等である集会

12:30 開場 13:00 開会
(終了予定は16:15です)

日本教育会館 8F 会議室

交通 最寄り駅 東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線
「神保町」駅(出口A1)徒歩3分
アクセスマップ

※感染症対策にご協力ください

- マスクの着用・手洗いの徹底をお願いします。
- 体調のすぐれない方・発熱をしている方は参加をご遠慮ください。
- 会場での飲食はご遠慮ください。

■参加申し込み・お問い合わせ■

■下の QR コードまたは URL より申し込みフォームにアクセス、または電話、または下記の申し込み用紙にご記入し FAX でお申込みください。

■会場参加は定員180名ですが、感染状況に応じて定員が変更になる場合があります。当日、お申込みのない参加者については、既定の人数に達した段階で、ご参加をお断りする場合があります。あらかじめご了承ください、できるだけ事前のお申し込みをお願いいたします。<申し込み締め切り：2024年2月1日(木)>

フリガナ お名前	参加形態 (チェックをいれてください) <input type="checkbox"/> 現地参加 <input type="checkbox"/> オンライン参加
メールアドレス ※オンライン参加の方は必須	電話番号 *開催に関して変更があった場合にご連絡する場合があります。

申し込みフォーム

→ <https://forms.gle/Na4GFqRfvPVjyEYk9>



憲法を守り生かし
平和と民主主義
子どもたちの権利を保障する
教育を、取り戻そう！

2・3 東京教育集会 2024
2月3日 土



主催 2・3東京教育集会 2024実行委員会

TEL03-3230-4091 FAX03-3230-4090

2・3

東京教育集会

2024

憲法を守り生かし

平和と民主主義

子どもの権利を

保障する教育を、取り戻そう！

～2・3 東京教育集会 2024 参加のよびかけ～

○「即時停戦！」「誰も殺すな！」—平和な未来を子どもたちとともに

ウクライナとパレスチナ・ガザ、2つの戦争で何万人もの人々が犠牲になっており、その約半数は子どもです。暴力や武力では、何も解決しません。平和を願う世界の人々と連帯し、地域から声を上げるとりくみが各地で行われています。ところが日本政府は、「安保3文書」による軍備拡大をおし進め、「国を愛する態度を養う」ことを教育の場に求めています。私たちは、「平和的生存権」を確立した憲法を持つ日本の“市民”として、平和な未来をつくるために、子どもたちとともに考え、行動していきたいと考えます。

○「このままでは学校が持ちません！」—教育予算を増やして、ゆとりある教育条件の整備を

2022年度の小中学校での不登校は、全国で約30万人、東京都で3万人余と、この2年間で急増しています。コロナ禍での体験は、子どもたちが安心して過ごせる居場所としての“学校”の役割を明らかにしました。しかし、いまの学校は多くの子どもたちにとってつらい場所になってしまっているようです。

「過労死ライン」の長時間労働、未配置・未補充による人員不足、教員採用選考の倍率低下など、教職員の実態は深刻です。「先生、あのね」と、子どもとせんせいたちがゆとりをもってふれあい、ゆきとどいた教育がすすめられるよう、教育予算を増やして少人数学級の実現、教職員の大幅増を求めます。

ところが東京の実態はどうでしょう？ 学校の統廃合や民間との複合施設化が、各地で大規模におし進められ、特別支援学校では過大・過密の実態が続いています。プール指導の民間委託、業者丸投げの英語スピーキングテスト「ESAT-J」を都立高校入試に導入、夜間定時制高校の募集停止など、子どもの権利も都民の願いも無視した、効率優先の教育政策と民営化、教育予算の削減がねらわれています。

○声を上げれば変えられる

子どもと教育・子育ての悩みや困りごとを含めて、みんなで語り合い、改善を求めて行動する動きが広がっています。「教育カフェ」や「おしゃべり会」が各地で開催され、包括的性教育の推進をめざすとりくみも始まりました。給食の無償化を求める世論が広がり、すべての区といくつかの市町村でも実施されるようになりました。教育研究者有志がよびかけた教育予算の増額を求める署名や、「もう一人保育士を」の運動もすすんでいます。「お金の心配なく学びたい」「平和な未来を」と高校生や学生が声をあげ、行動しています。

2024年は子どもの権利条約批准30周年。国連への第6・7回政府報告と併行する、市民からの報告書づくりが本格化します。「東京都子ども基本条例」3年目の「見直し」が行われる年でもあります。

平和な未来と子どもたちのすこやかな成長を願う、すべてのみなさん。

2・3教育集会に集まって語り合い、学び合いましょう。そして、すべての子どもが大切にされる教育と社会の実現をめざす取り組みをご一緒に広げていきましょう。

2・3 東京教育集会 2024 実行委員会

集会賛同金のご協力をお願いします！

この集会は、趣旨にご賛同いただける皆さんの賛同金で行われます。ぜひご協力をお願いします。振込用紙の通信欄に、賛同金の口数、お名前をご記入いただき、お振り込みください

賛同金：個人 1口500円（できるだけ2口以上お願いします）

団体 1口2,000円

郵便振替口座：00110-2-333678

加入者名：東京教育集会実行委員会